

61人
代議員

94人
出席者合計

2022年度運動方針を決定



7月23日
SAT

第55回全大教定期大会を開催

高等教育の充実、労働条件の改善、組合の拡大と強化にむけて

全大教新聞

2022年8月10日

第398号

【発行所】

全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2 文科省会見を実施【高専協議会】(7月1日)
- 2 財務重要請 2団体共同 を行いました(7月21日)
- 2 ご案内「秋のオンライン交流会を開催します」
- 3 論壇「ツマアカスズメバチ」九州大学農学研究院准教授 上野高敏
- 3 職場のQ&A ④ 雇止め基礎知識①

- 4 単組からのレポート
- ・北海道教育大学釧路校
- ・「コロナ禍での取り組みについて」
- ・富山商船高専「業務量過多の改善を」
- ・香川大学「経験と知識を蓄積して交渉力の強化へ」

全大教は7月23日(土)、第55回定期大会をウェブで開催しました。大学・共同利用機関の59単組59人、高専協議会(24単組)2人、計61人の代議員が出席。運動方針や予算などについて審議し決定しました。



2022年度運動方針

中央執行委員会から2021年度の取り組み報告および2022年度の運動方針案の提案がありました。提案を受けた質疑・討論では、全大教新聞の組合員へのホームページでの公開や内容、研究者等の10年雇止め問題、文科省の天下り・出向人事、36協定・残業問題、裁量労働制の助手・助教への適用範囲、単組支援、

ガバナンス・学長選考、経済安全保障法、組合加入促進、大学設置基準の改正などについて議論が行われました。2022年度運動方針は賛成多数で可決され、新年度の様々な課題について、全加盟組合で情報交換・取り組み交流を行いつつ、協力して取り組むことを確認しました。

2022年度運動方針の主なもの

● 高等教育に関する取り組み

- 1 新型コロナウイルスへの対応と「コロナ後」の体制作りのための環境整備にむけた取り組み
- 2 これまでの「大学改革」方針の総括と反省に立った方針転換を求める取り組み
- 3 政府による一方的な高等教育再編や地方大学切り捨てを許さない取り組み
- 4 教員の雇用を不安定化する

● 労働条件に関する取り組み

- 1 団体交渉・労使関係の充実
- 2 2022年人勤対応、労働条件全般
- 3 教員の年俸制、業績評価
- 4 有期雇用・パートタイム教職員の労働条件

規約・規程の改正

- 1 組合員の加入促進
- 2 組織運営・強化
- 3 情報宣伝活動の取り組み

規約・規程の改正

中央執行委員会から規約・規程の改正の提案があり、規程改正について東京海洋大学から議案取下げの動議が提出され、1件は中央執行委員会を受け入れ、1件は執行部回答を受けて取下

2022年度予算など

他、2021年度決算報告(運動方針、規約・規程改正)および会計監査報告、2022年度予算など、8本されました。

メッセージ

次の方々からメッセージをいただきました。

- ・日本私立大学教職員組合連合(下地真樹 中央執行委員長)
- ・全国公立大学教職員組合連合(中澤秀一 中央執行委員長)
- ・日本教職員組合(瀧本司 中央執行委員長)
- ・全日本教職員組合(宮下直樹 中央執行委員長)
- ・教職員共済生活協同組合(岡島真砂樹 理事長)
- ・および大学事業所(鹿野芳郎 大学事業所所長)
- ・日本国家公務員労働組合連合会(九後健治 中央執行委員長)
- ・日本医療労働組合連合会(佐々木悦子 中央執行委員長)
- ・全日本国立医療労働組合(前園むつみ 委員長)
- ・全国労災病院労働組合